

暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報 第6号

平成26年12月17日05時21分 気象庁予報部発表

*赤字は、関東地方（深谷市）にも関係する内容です

(見出し)

18日にかけて、北日本から西日本では沿岸部を中心に非常に強い風が吹き、沖縄・奄美も含め、大しけとなるでしょう。特に北海道地方は猛烈な風が吹き、北日本と北陸地方は猛烈なしけとなるでしょう。暴風や暴風雪、高波、大雪、高潮に厳重に警戒してください。

(本文)

[気圧配置の予想]

釧路沖には急速に発達している低気圧があって、北に進んでいます。また、北海道の西にも発達中の低気圧がゆっくり東に進んでおり、これらの低気圧は北海道付近でひとつにまとまる見込みです。

このため、日本付近は冬型の気圧配置が強まっており、日本の上空に強い寒気が流れ込んでいます。強い冬型の気圧配置は18日にかけて続くでしょう。

[防災事項]

<暴風・暴風雪・高波>

全国的に風が強まっており、沿岸部では非常に強い風が吹いているところがあります。海上では日本海側を中心に全国的に大しけとなっています。

17日は、全国的に沿岸部を中心に雪を伴って非常に強い風が吹き、特に北海道地方では猛烈な風が吹くところがあるでしょう。18日も全国的に風が強く、北日本や東日本を中心に雪を伴って非常に強い風が吹くでしょう。

また、海上では18日にかけて、北日本から西日本の日本海側を中心に広い範囲で大しけとなり、特に北日本と北陸地方では猛烈なしけとなる見込みです。

18日にかけて予想される最大風速（最大瞬間風速）は、

北海道地方	35メートル（50メートル）
東北地方	28メートル（40メートル）
北陸地方、 関東甲信地方 、東海地方、四国地方	25メートル（35メートル）
近畿地方、中国地方	22から23メートル（35メートル）
九州北部地方、九州南部	20メートル（30メートル）

18日にかけて予想される波の高さは、

北海道地方	10メートル
東北地方、北陸地方	9メートル
関東甲信地方、近畿北部	7メートル
東海地方、山陰、九州北部地方、九州南部・奄美地方、沖縄地方	6メートル

の見込みです。

猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害、暴風や高波に嚴重に警戒してください。

<大雪>

低気圧が接近している北海道地方は大雪となっています。また西日本から東北にかけて、日本海側を中心に広い範囲で雪が降っており、強く降っているところがあります。

18日にかけて、北海道地方、および東北地方から西日本の日本海側は、平地を含め大雪となる見込みです。特に北陸地方と北日本を中心に、大雪に警戒が必要です。太平洋側でも雪雲が流れ込んで積雪となるところがあり、大雪に注意・警戒が必要です。

18日6時までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで

北陸地方	100センチ
北海道地方、東北地方、関東甲信地方、東海地方	80センチ
近畿北部、中国地方	60センチ
四国地方、九州北部地方	30センチ

の見込みです。

大雪に警戒し、なだれ、電線や樹木への着雪・倒木に注意してください。

<高潮>

北日本では、17日は、急速に発達する低気圧の接近により、潮位が高くなる見込みです。海岸や河口付近の低地では浸水や冠水に嚴重に警戒してください。

[補足事項]

地元の气象台が発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

次の「暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報」は、17日11時頃に発表する予定です。